

東京1区市民連合 会報 No.3 (部内資料)

〒101-0051 千代田区神田神保町1-18-1 千石屋ビル 402号 TEL・Fax03-5577-7680

メールアドレス: 1kushimin@gmail.com ツイッター: <https://twitter.com/1kushiminrengo>

東京1区、市民と野党で海江田万里さんを応援 12項目の「基本政策」に合意・調印

10月8日、新宿の農協会館において、東京1区市民連合（以下、市民連合）と立憲民主党、日本共産党、社会民主党の4者による「17衆議院議員総選挙基本政策」の調印が行われました。調印式は「総選挙必勝をめざす懇談会」として開催され、12項目による基本政策（別項）に調印されました。今年2月に市民連合（仮称）準備会を結成して8ヵ月。この総選挙を東京1区で市民と野党が共同して海江田万里さんを応援することになります。みなさんの大きなご支援をお願いするものです。この懇談会には、千代田、新宿、港区に住み、働き、学ぶ人々86人が集まり、熱気につつまれました。

懇談会の司会は、市民連合の事務局長・大西広さんが行い、共同代表の一人、小原隆治さんが会を代表してあいさつ。小原さんは「この総選挙で市民と野党が一緒になって、東京1区で立憲民主党の海江田万里さんを応援することになった。そのためにこれまで予定候補としてがんばってこられた、日本共産党の富田直樹さんは立候補を取り下げていただいた。市民と野党の統一のためのご判断に深く感謝したい」と述べ、「安倍暴走政治にストップをかけ、立憲主義を取り戻すため、海江田さんを何としても当選させよう」と訴えました。

つづいて水久保事務局長代行が、市民連合が結成された昨年来の経過を報告し、「この運動をもっともっと広げ、多くの市民に参加してもらえよう協力をお願いしたい」と強調しました。このあと各政党から、立憲民主党・海江田万里さん、日本共産党・富田直樹さん、社会民主党・河野達男さんがそれぞれの党を代表してあいさつしま



基本政策調印風景

した。

あいさつのあと、この懇談会に集まった市民から「女性への賃金差別や偏見をなくしてほしい」「希望の党の小池代表は、都知事選挙で約束したことを反故にしている。党内では矛盾が続出し、一部の人たちは離党している。こういう人が率いる党は信用できない」「市民と野党の統一ができたことはすごい。海江田さんを何としても国会におくろう」などの発言が相次ぎました。

つづいてこの日のメインである、基本政策の調

印。東京1区市民連合を軸に、候補者、政党が個別に調印しました。歴史的かつ画期的なその模様の写真を撮ろうと、にわか「カメラマン」のカメラ

サプライズが。角谷美樹さん親子から激励の花束を贈呈。またまた会場は熱気につつまれました。戦いは本番さながら。海江田さんと懇談会参加



ちびっ子から激励の花束贈呈

ラの放列ができました。

基本政策の調印のあと、海江田万里さんがあいさつに立ち、大きな拍手で迎えられました。海江田さんは「安倍政権の暴走は止めなければならない。森友・加計学園疑惑にフタをするために国会を解散し、憲法を変えようとしている。これは許されることではない。安倍政権

打倒をかかげ全力を挙げて戦いたい。ご支援をよろしく願います」と決意を述べると、ひときわ大きな拍手が巻き起こりました。

海江田予定候補のあいさつが終わると同時に、

者は安倍内閣打倒を訴えるため、新宿駅西口に移動。宣伝カーで1時間余にわたって安倍内閣や希望の党の危険性や立憲主義をとりもどそうと、駅前を通行する人たちに訴えました。この宣伝行動には200人が参加、宣伝カーからの声に立ち止まって耳を傾ける人が100人近くいました。

安倍首相は「国難突破解散だ」と強調しました。すかさず『ボク国難突破解散』だろう、と揶揄する声が聞こえてきました。言いえ妙、とはこのことで首相自身（ボク）が森友・加計疑惑の「難」を突破するための解散ではない



決意表明する海江田万里予定候補

のかというものです。まさにそのとおりで、いつもの安倍首相のごまかしはもう通用しません。

かつて安倍首相は「日本を取り戻す」というキャッチフレーズを使いましたが、私たちは『立憲主義を取り戻す』ために全力をあげましょう。

<10月8日に合意された17衆議院議員総選挙における東京1区基本政策>

- ①特定秘密保護法、安保法制、共謀罪法を廃止し、立憲主義を回復する。
- ②「アベノミクス」による国民生活破壊、格差と貧困を是正する。
- ③沖縄の基地問題など、国民の声に耳を傾けない強権政治を許さない。
- ④安倍政権が進める改憲は、憲法の理念・原則を損なうものであるから、これを許さない。
- ⑤森友・加計学園疑惑を徹底して追及する。
- ⑥高度プロフェッショナル制度の導入などの労働法制の改悪に反対し、長時間労働の規制強化、最低賃金の大幅引き上げを行う。
- ⑦国連で採択された核兵器禁止条約を支持し、日本の参加をめざす。
- ⑧福島第一原発事故の検証及び地元自治体の合意がないままの原発再稼働は認めず、再生可能エネルギー政策を確立し、原発ゼロをめざす。
- ⑨LGBTに対する差別解消施策や、ヘイトスピーチ根絶のための対策を通じて多様な社会を確立する。
- ⑩女性に対する雇用差別や賃金格差を撤廃し、女性議員増や選択的夫婦別姓など男女平等の社会を確立する。
- ⑪すべての子ども、若者が健やかに育ち、学び、働くことを可能にするため、奨学金の給付制度拡充をはじめ、保育、教育、雇用に関する政策を飛躍的に拡充する。
- ⑫2019年10月に予定されている消費税増税をいったん停止し、社会保障制度・税財政全体の改革の中で議論する。

第4回呼びかけ人会議を開催（10月3日） 基本政策案、共同代表などを決定

10月3日、東京1区市民連合の事務所で、第4回呼びかけ人会議を開きました。この会議には、エキタスと未来公共の若者たちも参加、議論に加わりました。会議はまず、総選挙が本決まりになったことを受け、これまで「準備会」として進めてきた会の名前の「仮称・準備会」を外し、正式発足させることを確認。

役員体制の確立も必要であることから、共同代表に小原隆治さん（早稲田大学・新宿区）、桜井幸子さん（婦人民主クラブ・港区）、晴山一穂さん（専修大学・千代田区）の3人、事務局長に大西広さん（慶応義塾大学）、事務局長代行に水久保文明さん（千代田区労協）、事務局長に高橋博さん（新宿区労連）、同・高橋孝さん（港区労連）を選出しました（※注・晴山さん、両高橋さんの選出は5日）。

つづいて基本政策の中身について議論、案を3野党に提示することにし、翌4日に代表が各党を訪ね手渡し、検討を要請しました。この案をもとに市民連合と3政党の4者でやりとりを行い、7日午後に合意を得られるところとなりました。それが上記の「基本政策」となったものです。

呼びかけ人会議は、8日の基本政策合意の調印と新宿駅西口の行動（結果の詳細は1、2面）、12日に開く学習決起集会の進め方について相談。さらにネットを活用するためのホームページの開設、ツイッターなどNSNの活用などについても議論しました。

この会議までに呼びかけ人は31人でしたが、その後、基本政策合意までの間に5人、その後1人増え37人となっています（4面）。

東京1区市民連合 役員及び呼びかけ人名簿

共同代表	小原 隆治	(早稲田大学 政治経済学術院教授)
同	櫻井 幸子	(婦人民主クラブ会長)
同	晴山 一穂	(専修大学 法科大学院教授)
事務局長	大西 広	(慶応義塾大学 経済学部教授)
呼びかけ人	青柳 義則	(全労協東京中部ブロック協議会議長)
同	浅井 武彦	(新宿社会保障推進協議会 会長/歯科医師)
同	阿部 百合子	(俳優)
同	荒井 新二	(弁護士・自由法曹団団長)
同	伊藤 陽一	(法政大学 名誉教授)
同	伊豫 軍記	(元日本大学教授)
同	梅津 仁	(医師・おおくぼ戸山診療所 所長)
同	小川 均	(戦争法廃止! みなと総がかり行動実行委員会事務局長)
同	小黒 和子	(イギリス文学研究者)
同	加藤 正治	(港区・中小企業家)
同	蔵原 清人	(工学院大学 名誉教授)
同	小林 秀治	(千代田区労働組合協議会議長)
同	金子 征史	(法政大学 名誉教授)
同	金子 勝	(慶応義塾大学 経済学部教授)
同	後藤 雄介	(早稲田大学 教育・総合科学学術院教授)
同	齋藤 純一	(早稲田大学 政治経済学術院教授)
同	佐々木江利子	(日本児童文学者協会)
同	清水 洋二	(弁護士・旬報法律事務所)
同	須田 昭夫	(須田クリニック院長/東京社会保障推進協議会 会長)
同	高橋 博	(みんなの新宿をつくる会 会長)
同	田中 義教	(日本中国友好協会理事長/法政大学元理事)
同	寺澤 文子	(戦争をさせない千代田の会 代表)
同	中川 重徳	(弁護士・諏訪の森法律事務所)
同	中川 雄一郎	(明治大学 名誉教授)
同	橋本 佳子	(弁護士・東京法律事務所)
同	洪 美絵	(弁護士・東京合同法律事務所)
同	藤井 正實	(医師・芝診療所 所長)
同	藤原 家康	(弁護士・藤原家康法律事務所)
同	平山 知子	(弁護士・あかしあ法律事務所)
同	保科 博一	(グラスルーツ・ラボ 共同代表)
同	三浦 まり	(上智大学教授)
同	渡辺 照子	(派遣労働者/女性労働問題研究会 運営委員)
同	渡辺 眞知子	(キリスト者政治連盟)